

令和3年度滋賀県中小企業活性化施策実施計画 アウトカム目標一覧【74事業】

厚生・産業常任委員会【資料8-4】
令和4年(2022年)8月9日
商工観光労働部中小企業支援課

重点 施策	施策 分類	事業名	事業目的	アウトカム目標
1	I	8-3 事業継続計画策定支援事業	県内中小企業・小規模事業者のBCP策定を促進する。	研修を受けてBCPを策定した企業の増加数:5社
2	I	8-3 県中小企業支援センター事業	中小企業の振興と経営の安定。	専門家派遣を活用された中小企業者の目的達成率:95%
3	I	8-3 小規模事業経営支援事業費補助金	小規模事業者等の振興と安定への寄与。	経営発達支援計画に掲げる売上増加事業所数目標を達成した商工会・商工会議所の割合:75%
4	I	8-3 中小企業等への支援による地域経済活性化事業	商工団体等の地域経済活性化のための取組に対する支援。	事業者を支援する事業を実施して効果があったと回答した団体の数:全9団体
5	I	8-3 滋賀発事業承継プロジェクト促進事業	コロナ禍において、自主廃業が増加することが懸念される中、事業者の事業承継ニーズ掘り起こしを強化し、後継者候補の育成および幅広く活用できる補助金により、事業承継を促進する。	事業承継・引継ぎ支援センターへ引き継いだ事業者数:36者 事業承継計画作成もしくは後継者人材バンクへの登録数:15件 事業承継の課題解決に繋がった事業者:10者
6	I	8-4 滋賀の匠クラウドファンディング支援事業	伝統的工芸品等の新規顧客の獲得や販路拡大。	クラウドファンディングの目標を達成した事業者の割合:100%
7	I	8-4 にぎわいのまちづくり総合支援事業	商店街等が行う商店街活性化のためのソフト事業に対する助成。	来街者数等の目標を達成した商店街等の割合:75%
8	I	8-4 近江の地酒文化普及事業	近江の自然・歴史・人によって育まれてきた「近江の地酒」に関する魅力を発信することで、県民等が近江の地酒に対する愛着を高め、もてなすことで新たなファン獲得や需要の掘り起こしを行い、滋賀への誘客促進や関係人口の創出を図る。	「滋賀地酒10,000人乾杯プロジェクト」の参加人数:10,000人 商談件数:50件
9	I	9-1 滋賀県ちいさな企業応援月間情報発信事業	県内の支援機関等が実施する支援策や諸活動の広報。 県内の「ちいさな企業」の魅力発信。	Instagramフォロワー数:600人
10	II	8-3 滋賀マザーズジョブステーション事業	出産や子育てによる離職後、再就職を希望する女性等を対象とした就労支援。	滋賀マザーズジョブステーションの就職件数:960件
11	II	8-3 しがの産業生産性向上支援事業	カイゼン手法により企業の現場における業務効率を良くし、生産性を向上させること。	生産性の向上につながっている企業の割合:85%
12	II	8-3 中高年人材新規就業支援事業	少子高齢化等による労働力不足が見込まれる中、滋賀労働局・ハローワークと連携し、中高年齢者への一体的な就労支援等を実施することで、県内企業への就業を促進する。	シニアジョブステーション滋賀利用者の就業者数:500人

重点 施策	施策 分類	事業名	事業目的	アウトカム目標	
13	Ⅱ	8-3	しがジョブパーク事業	学生・若者・就職氷河期世代の求職者を対象に相談から就職・定着までをワンストップで支援する。 また、県内企業等を対象に、若手人材の確保・育成や受け入れ環境整備を支援する。	しがジョブパークを利用した若者の就職者数:2,200人
14	Ⅱ	8-3	チャレンジドWORK運動推進事業	障害者の雇用促進。	県内に本社のある民間企業の実雇用率:2.3%
15	Ⅱ	8-3	オール滋賀DEインターンシップ事業	県内企業等への就職者の増加や就職におけるミスマッチの解消。	インターンシップ参加者の県内企業等への就職率:76.0%(R3.3.31卒)
16	Ⅱ	8-3	外国人材受入サポート事業	外国人材受入支援により、県内企業等の人手不足を解消。	支援した企業等の外国人材採用人数:155人
17	Ⅱ	8-3	首都圏等からのUIターン就職推進事業	首都圏等都市部の移住希望者の本県への移住・UIターン就職を推進する。	「しがJU相談センター」の支援等を通じて首都圏等から本県へ移住就業した人数:5人
18	Ⅱ	8-3	仕事と生活の調和推進事業 (コロナ禍の柔軟な働き方導入支援事業)	働きやすい職場環境づくり支援。	利用企業の認証ステップアップ数または新規認証:6社
19	Ⅱ	8-3	コロナ禍における女性のマッチング支援事業	主にコロナ禍で離職や収入減となった女性の早期就労を支援。	マッチング支援による採用者数:40名
20	Ⅱ	8-3	地域を支える建設産業魅力アップ事業	建設産業の魅力発信。	滋賀けんせつみらいフェスタにおいて、建設産業の魅力を感じた人の割合:95%以上
21	Ⅱ	8-3	プロフェッショナル人材戦略拠点運営事業	中小企業の事業革新に必要となるプロフェッショナル人材の採用を支援する拠点を運営するとともに、県外でのマッチング会の開催等を通じて、大都市圏や大手企業等から県内中小企業への人材還流を促進する。	地域企業に対する副業・兼業を含めた人材マッチング件数:150件 うち直近の勤務地が県外のプロ人材のマッチング件数:65件
22	Ⅱ	8-4	現場力の維持・強化に向けたAI開発支援事業	AI技術の活用による県内中小企業の生産性向上。	AI導入支援実施企業数:20件/年
23	Ⅱ	8-4	製造現場へのAI・IoT導入促進事業	県内中小企業の製造現場が行う、AI・IoTといったデジタルツールの導入を支援する。	製造現場へ新たにAI・IoT導入を具体的検討・決定した企業数:20社
24	Ⅱ	8-4	DXによる新たなビジネスモデルづくり事業	経営者層の意識変革を促し、県内中小企業のDX推進のための取組を支援する。	参加企業においてデジタル技術を活用した新たな事業展開や事業見直しの検討を開始した件数:15件
25	Ⅲ	8-2	「発酵産業」成長促進化プロジェクト推進事業	多様な主体でつながるプラットフォームを構築し、発酵を軸とした新たな商品・サービスの創出を支援するとともに、認知度向上に向けた施策を展開する。	商品・サービス化:1件

重点 施策	施策 分類	事業名	事業目的	アウトカム目標	
26	Ⅲ	8-2	近未来技術等社会実装推進事業	滋賀県内をフィールドに、IoT、AI、自動運転、ドローン等近未来技術の社会実装に向け、企業等からの申請に基づく実証実験等の経費に対して助成し、事業化に向けた取組の促進を図る。	社会実装に至った件数：1件
27	Ⅲ	8-2	滋賀発成長産業発掘・育成事業	本県の経済成長を牽引する新たな成長産業の発掘・育成を図る。	新規法人化等件数：1件
28	Ⅲ	8-2	海外展開総合支援事業	JETRO滋賀貿易情報センターと連携し、貿易や海外投資等に関する相談対応 ASEAN地域を重点的に中小企業の海外事業展開を支援。	海外展開成功件数：15件
29	Ⅲ	8-2	反転攻勢に向けた海外展開チャレンジ支援事業	県内企業の海外展開を通じた県内企業の経営の強靱化、反転攻勢への取組を後押しする。	本補助事業の実施により、新たな海外展開・輸出につながった件数：7件
30	Ⅲ	8-3	SDGsビジネス創出支援事業推進事業	「滋賀×SDGs交流会」に「(仮称)滋賀SDGsビジネス推進協議会」を設置し、企業のSDGsにかかるビジネスを支援するとともに、社会的課題の解決に向けたアイデアの創出を促す取組を実施する。	ビジネスにつながる社会的課題の発掘件数：3件
31	Ⅲ	8-3	「滋賀の幸」サプライチェーン構築支援事業	「生活」と「生産」が距離的に近い特徴を持つ滋賀らしさを活かし、安定的な市場流通に加え、直売所等の機能強化や通信販売等の多様なサプライチェーンの実現を図る。	サプライチェーンの強化に取り組む事業者数：20事業者
32	Ⅲ	8-4	コロナ対応モノづくり研究開発支援事業	中小企業者等の新製品や新技術開発を活性化。	過去5か年の計画認定事業の製品化割合：47%
33	Ⅲ	8-4	イノベーションエコシステム創出支援事業	多様な主体の共創により、社会的課題の解決につながるイノベーションの創出、新技術・新製品開発、新ビジネスの展開を支援する。	参加者の共同研究や製品開発など事業連携を検討した件数：10件
34	Ⅲ	8-4	企業立地促進応援パッケージ	県内への新規立地・再投資の促進。	本社機能、研究開発拠点、マザー工場等の新設・増設：4件
35	Ⅲ	8-4	ワーケーション推進事業	コロナ禍を踏まえた新しい観光の一つとしてワーケーションを推進し、観光三方良し(宿泊事業者の平日を始めとする宿泊率向上、企業の働き方改革やSDGs等の企業価値向上、琵琶湖や森林の保護活動等への参加者確保)の実現を目指す。	滋賀県でのワーケーション体験者数：150人
36	Ⅲ	8-4	“ブランド近江牛”流通パワーアップ事業	近江牛の流通拡大による、近江牛に関係する中小企業の活性化。	近江牛取扱店舗数：310店舗(R3年度)
37	Ⅲ	8-4	しがの漁業魅力発信スキルアップ事業	担い手漁業者の販売スキルの向上および新規就業支援。	琵琶湖産魚介類を活用する事業者数(琵琶湖八珍マイスター登録店舗数)：252店舗(累計)
38	Ⅲ	9-1	6次産業化ネットワーク活動推進事業	農林漁業者等の所得向上と地域における雇用の創出。	実施事業者数：10事業者 6次産業化を含む経営改善計画や総合化事業計画を策定した経営体数：5経営体

重点 施策	施策 分類	事業名	事業目的	アウトカム目標
39	8-2	医工連携ものづくりプロジェクト 創出支援事業	医工連携分野における産学官連携基盤の強化。	ネットワーク会議に参加する企業の数:60社
40	8-2	地域未来プロジェクト構築支 援事業	地域における新たな成長産業創出と県内企業の競争力強化。	協議体による競争的研究資金への応募件数:1件
41	8-2	汚水処理分野における技術協 力プロジェクト	本県企業による水環境ビジネスの推進。	参加企業数:5社
42	8-2	世界に広げる「滋賀の食材」海 外プロモーション事業	海外における滋賀県産食材・食品の販路拡充・需要拡大を促進。	新たに輸出に取り組む事業者数 40事業者(平成28年度からの累計)
43	8-3	高度外国人材対象就職支援 事業	県内JET参加者および留学生と企業とのマッチングを行うこと。	JETプログラム参加者および留学生数:30名、参加企業:15社
44	8-3	ベトナム人材交流推進事業	ベトナム人材とのマッチング機会創出により、県内企業等の人手不足を解消す る。	参加企業のベトナム人材採用人数:20人
45	8-3	移住就業支援事業	東京圏からのUIターンによる就業を促進するとともに、人材不足に直面する地 域の中小企業等の人材の確保を支援する。	移住支援金を活用した東京圏からのUIターンによる就業者数:20人
46	8-3	働く場における女性活躍推進 事業	早期離職や出産・育児期の離職を防止し、管理職や役員へのキャリアアップを 支援することで、本県における働く場での女性の活躍推進を図る。	セミナー受講者の心情変化(気づき)率の割合:85% 交流会参加者の参加目的達成割合:85%
47	8-3	女性のわくわく応援事業	就労支援と職域拡大促進による新規就業者の掘り起こし。	無業女性の就職件数:480人
48	8-3	職業的自立と社会参加をめざ した職業教育充実事業	障害のある子どものキャリア教育の充実。 関係機関と連携した総合的な支援の推進。	県立特別支援学校高等部卒業生の就職率:30%以上 県立特別支援学校高等部卒業生の就職実現率:90%以上
49	8-3	【産業振興総合支援推進事 業】 (公財)滋賀県産業支援プラ ザの支援体制の強化等	新事業の創出や経営革新などの支援を行う(公財)滋賀県産業支援プラザに係 る必要な体制の整備。	プラザの支援に満足している企業割合:95.0%
50	8-3	中小企業連携組織対策事業 費補助金	中小企業連携組織の推進ならびに中小企業団体の育成および指導を促進す ること。	中央会の指導対応が、「課題解決に繋がったか」の割合:90%以上
51	8-3	小規模事業者IT活用支援事 業	商工会職員のIT活用スキルの向上とノウハウの蓄積。	売上向上・新規顧客増加が進んだと感じた支援事業所の割合:70%
52	8-3	滋賀県事業承継ネットワーク 連携促進事業	県内中小企業の事業承継促進。 支援機関職員の事業承継支援スキルの向上。	事業承継計画策定件数:20件

重点 施策	施策 分類	事業名	事業目的	アウトカム目標
53	8-3	下請企業振興事業費補助金	下請中小企業の経営の安定化と振興。	あっせん成立:42件
54	8-3	【産業振興総合支援推進事業】 コラボしが21インキュベーション	創業を目指す者や起業間もない小規模事業者の事業の成長。	創業支援による開業届提出率:32.0%(創業サロン入居者および退所後1年以内の継続支援者で開業届未提出者の内、該当年度の開業届提出の割合)
55	8-3	起業するなら滋賀!起業チャレンジ応援事業	県内の起業マインドの醸成。 起業の裾野拡大。	HP閲覧件数:2,000件
56	8-3	地と知をつむぐビジネスデザイン 構築事業 (SOHO型ビジネス支援事業)	起業間もない小規模事業者の事業の成長。	R3年度の卒業者のうち入居時よりも事業拡大した者の割合:80%
57	8-3	中小企業経営革新支援事業	中小企業が新事業に取り組むことで経営を向上。	「市場化ステージ支援事業補助金企業化状況調査」による企業化率 40%(H27~R1採択事業者実績)
58	8-3	滋賀の魅力活用型ちいさな企業応援補助金	小規模事業者の成長と発展。	新商品市場化が進んだと感じた割合:80%
59	8-3	「ココール」商機拡大支援事業	「ココール マザーレイク・セレクション」をはじめとする滋賀らしい価値観を持つ商品・サービスを県内外へ広く伝える場を創り、魅力を発信することにより認知度向上を図り、販路拡大および誘客促進に繋げる。	商談件数:35件
60	8-4	伝統的工芸品月間等参加事業	一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会が主催する全国規模の事業に参加することで、県内の伝統的工芸品の振興及び製造事業者の経営基盤の強化を図る。	WAZA展への出展を通して「販路開拓につながった」と感じた事業者の割合:80%
61	8-4	「滋賀県モノづくり・匠の技展」開催事業	伝統的工芸品等の認知度向上。	「周知を図ることができた」と感じた出展事業者の割合:80%以上
62	8-4	テクノファクトリーの運営	草津市内に整備した賃貸型工場施設を安価な価格で提供することで、独自の技術を有する中小企業が、研究開発の成果を利用して新製品の試作や製造に係る技術の開発および改良を行うことを支援し、県内産業の振興を図る。	R3年度の卒業企業の県内定着率:80%
63	8-4	企業化支援棟推進費	起業化や企業の新分野進出等を支援するため、スペースの提供と技術支援を行う。	技術普及件数および新製品・新素材の提案数:50件

重点 施策	施策 分類	事業名	事業目的	アウトカム目標
64	8-4	工業技術総合センター試験研究指導費	県内の製造業の技術支援を行い、産業の振興を図る。	産学官連携共同研究数:25件
65	8-4	東北部工業技術センター試験研究指導費	県内の製造業の技術支援を行い、産業の振興を図る。	産学官連携共同研究数:25件
66	8-4	デジタル技術を活用した陶製品開発人材育成事業	信楽焼産地の振興。	3Dモデルを活用した商品開発:2件/年
67	8-4	「滋賀の魅力」観光PR推進事業	万葉・平安から戦国を経て、幕末・近代へ紡いできた多くの滋賀ゆかりの歴史遺産を改めて観光素材として「再発見・再評価」し、密にならない本県の特徴とあわせて、その魅力を発信することで、県内周遊・宿泊型観光の推進を図る。	〔観光施設の観光入込客数〕2017年171万人→2021年176.5万人 〔観光消費額〕2017年1,793億円→2021年1,957億円 〔延べ宿泊者数〕2017年387万人→2021年440万人
68	8-4	国際観光推進事業	観光地として選ばれるための情報発信を行うとともに、訪日中の外国人に対しても、滋賀県が選ばれるよう受入環境を整備・観光案内を実施する。	都道府県別延べ宿泊者数の前年比が全国平均を上回ること。
69	8-4	ピワイチ観光推進事業	琵琶湖を一周する「ピワイチ」ルートおよび県内の観光地や景勝地等を周遊する「ピワイチ・プラス」ルートの魅力を広く発信するとともに、その利用を促進することにより、観光の振興および地域の活性化を図る。	サイクルツーリズムによる経済波及効果の対前年増加額:4億円 (経済波及効果:R2 9.5億円、R3 8.7億円)
70	8-4	ここ滋賀推進事業	首都圏における県内事業者の販路拡大や滋賀へのいざないによる消費拡大に向け情報発信拠点「ここ滋賀」を運営する。	「ここ滋賀」が滋賀県に及ぼす波及効果:16億9,600万円
71	8-4	観光人材育成等地域支援事業	各地域が取り組む自立的かつ継続的な観光振興の中心となる人材を育成する。	観光地経営を実践出来る人材(3年間継続してアカデミー研修を受講、修了する者):20名
72	8-4	森の資源研究開発事業費補助金	県産材の利用拡大。	素材生産量:131,000m3
73	9-1	国立環境研究所連携推進事業	国立環境研究所琵琶湖分室の設置を契機として、「生態系に配慮した新たな水質管理手法」や「在来魚介類の回復」等の琵琶湖の保全・再生に資する共同研究を進めるとともに、研究成果等を水環境ビジネスや琵琶湖漁業の振興等につなげる産学官金連携による取組を推進し、地方創生を図る。	水環境ビジネス等に係る技術開発に向けたプロジェクトチームの数:4件(累計)
74	9-1	産学官連携コーディネート拠点運営事業	大学等の研究シーズを本県中小企業等の新製品・新技術の研究開発等につなげ、共同研究の推進や研究成果の事業化を促進する。	サポイン事業申請件数:6件